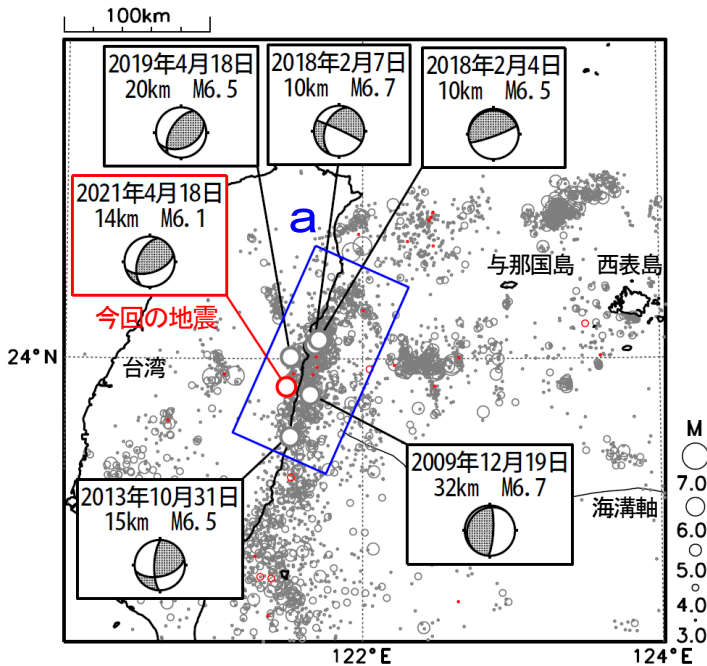


## 4月18日 台湾付近の地震

震央分布図  
 (2009年9月1日～2021年4月30日、  
 深さ0～50km、 $M \geq 3.0$ )  
 2021年4月以降の地震を赤く表示  
 図中の発震機構はCMT解  
 今回の地震の発震機構はGlobal CMT解

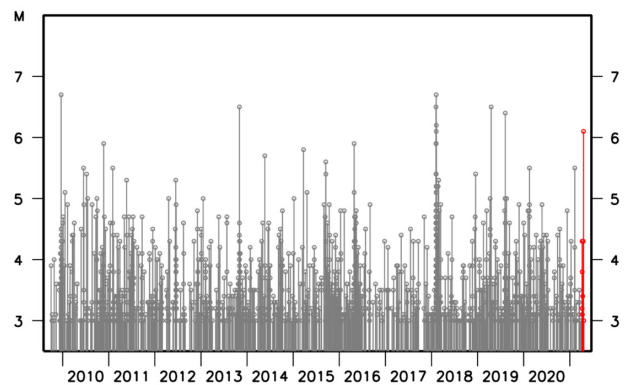


2021年4月18日23時14分に台湾付近の深さ14kmでM6.1の地震（国内で震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。

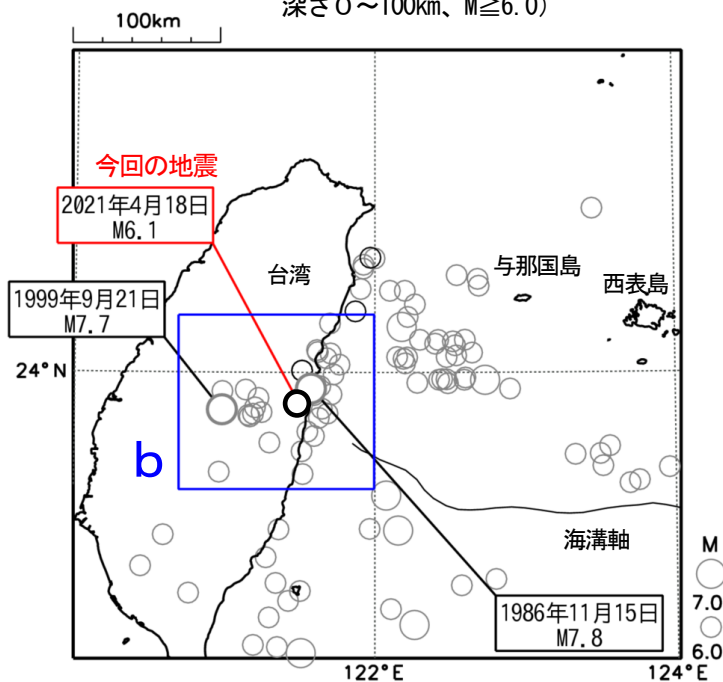
この地震の発震機構（Global CMT解）は、北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2019年4月18日のM6.5の地震では、日本国内で震度2を観測している。

領域a内のM-T図

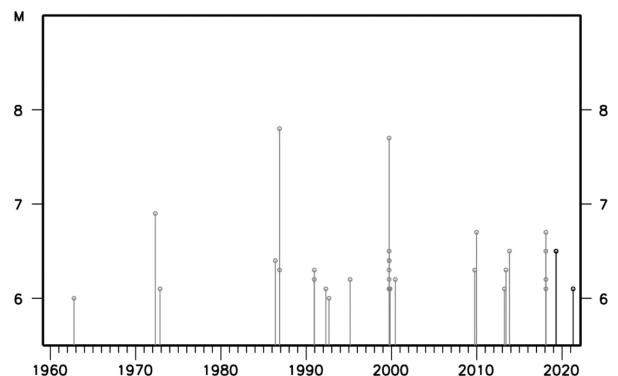


震央分布図 ※  
 (1960年1月1日～2021年4月30日、  
 深さ0～100km、 $M \geq 6.0$ )



1960年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、1986年11月15日にM7.8の地震（日本国内で最大震度3）が発生、宮古島平良で30cmの津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人の被害があった。また、1999年9月21日にM7.7の集集地震（日本国内で最大震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人の被害があった。（被害は、「宇津の世界被害地震の表」による）

領域b内のM-T図



※本資料中、2009年8月までの震源要素は米国地質調査所（USGS）による。2009年9月以降の震源要素は気象庁による。